

組織を越えた学びは、なぜ続くのか？

—有志の勉強会から考えるつながりと矛盾

プレゼンター：川口剛史（聖マリアンナ医科大学）

ナビゲーター：高橋美裕希（岐阜大学）

医療者の継続的能力開発（CPD）は、所属組織内の研修だけで十分に支えられるのでしょうか。本発表では、有志の勉強会など、正規の教育機関や研修制度の外で組織される非公式Special Interest Group（SIG）活動に着目し、日本の救急医を対象とした質的研究をもとに、多忙な医療者がなぜこうした活動に参加し、長く関わり続けるのかを紹介します。専門職として成長したいという思い、医療をよりよくしたいという目標や展望、心理的に安全で多様なつながり、そして「相互支援」と「社会貢献」の間に生じる矛盾を乗り越える過程から得られる学びを、CPDにどのように生かせるのか、皆さんの経験も交えながら考えます。

アソシエイトポイント：ML 0.125